

# 郵趣振興協会 活動報告

2020年9月1日～2020年12月3日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会(以下「当協会」と略す。)は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で賛助会員にお伝えすると共に、無料でご掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

## 郵博 特別切手コレクション展 (2021 年度) の開催スケジュールが決定

COVID-19 の流行状況を鑑みて、公募を中止し、過去展示を行った団体にご案内し選定手続きを進めて参りました 2021 年度「郵博 特別切手コレクション展」につきまして、共催者（郵政博物館および郵趣振興協会）において開催スケジュールを決定いたしました。

日程	展覧会名称	副題・説明等	出展者
5/8-16	ふるさと 郷土の郵便の歴史 展	全国各地、特定の地域や特定の郵便局に限定して集める“ふるさとの郵便史”	NPO 法人郵趣振興協会
6/12-20	第4回南方占領地の フィラテリー展	太平洋戦争中に日本が東南アジア等の占領地域で発行した珍しい切手を一挙に展示	南方占領地切手研究会
12/28- 翌 1/11	富士鹿切手展	1922年1月1日に発行され100周年を迎える富士鹿切手のコレクションを一挙紹介	NPO 法人郵趣振興協会
2022/2/5-6	第4回いずみ展	わが国郵趣グループのトップ・ランナーの実力がここに明かされる	いずみ切手研究会

郵政博物館の開館日・開場時間の短縮に伴う、

## 郵博 特別切手コレクション展 (2020 年度) の開催内容の変更

郵政博物館は、COVID-19 流行に伴う臨時閉館からの再開に伴い、当面の間、平日のみ時間を短縮して営業することが決まっていますが、本年の郵博特別切手コレクション展の開催期間中の短縮解除が決まらなかった為、以下の展覧会について、開催内容を変更もしくは中止することとしました。

第3回南方占領地のフィラテリー展

旧) 12/12-13 (土日) 10:30-17:30

新) 12/14-15 (月火) 11:00-16:00 (初日 13 時開場)

第4回いずみ展 (2021/2/6-7 開催予定) → 中止

## オンライン郵趣例会振興プロジェクトからのご報告

当協会では、2020年4月より齋 享 理事をプロジェクトリーダーにして、オンライン郵趣例会の活用を促す活動を行っていますが、本活動報告期間中には、以下の活動を実施しました。

### (1) 当協会が、技術および宣伝協力した、オンライン郵趣例会の開催

日本切手研究会	6回
外国切手研究会	13回
昭和切手研究会	3回
南方占領地切手コレクターズクラブ	3回

### (2) WEBセミナーの主催（右図）

「出品者による作品解説」（2020年11月29日）

### (3) オンライン郵趣例会開催団体の集客支援方法の提供

当協会ホームページにおける、例会報告コーナーの提供

外国切手研究会	13回
南方占領地切手コレクターズクラブ	3回

氏名	作品名
池田 敏介	第1次国債公債切手
吉田 敬	二宮町和
飯澤 達男	郵政切手
古家 美和	日本ポストアル・ステーションナリー1898-1906
齋 享	東北の鉄道建設による発展

当協会では、12月以降も、技術面およびマーケティング面で様々な取り組みを行うことで、オンライン郵趣例会の振興を図っていきたくと考えております。

### WEBセミナーアンケート結果（抜粋）

11/29の「出品者による作品解説」聴講者21名よりアンケートに協力いただきました。

Q「本日の5名の講演は、よく見聞きできましたか？」

→20名が「画面・音声共によく視聴できた」と回答。（95%）

Q「今後の講演会のテーマとして希望するもの」

→「競争切手展ルール」8名（42%）

「リーフ作りの技術的側面」6名（32%）

「英文リーフの作り方」7名（37%）

「特定の収集テーマに関する専門家の解説」14名（74%）

Q「特定の収集テーマに関する専門家の解説」の具体例は？

→「製造面勉強会」「日本の特殊切手（戦前～1960年代）」「外国の普通切手（1930～50年代）」「伝統郵趣（日本）のオリジナルな研究を含む作品」「伝統郵趣（外国）のクラシック作品」「手彫り」「小判」「印刷技術」「南方占領地」「英国」「植物」「検閲印」「日本関連ステーションナリー」「郵便史」ほか

## 各種事業の進捗について

当協会は「2020年度事業計画書」において、5つの事業を計画しております。

それらは「エキシビション事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリックPR事業」「次世代育成事業」の5つです。当クォーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

### エキシビション事業

郵博 特別切手コレクション展（2021年度）の開催について、郵政博物館と合意（12/3）

郵博 特別切手コレクション展（2020年度）等の展覧会の準備

スタンベックスジャパン2021実行委員会（横山裕三 実行委員会事務局長）」の活動継続

### フィラテリー必需品サプライ事業

「ヒンジ・カバー用コーナー・透明マウント」の3品目を最重要対象品とした、Amazon.co.jpにおける供給体制を維持。（本事業は随意契約の形で、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社へ委託しています）

### リサーチ及び研究推進事業

リーフ作成雛形提供事業の準備を継続中

### フィラテリックPR事業

ウェブサイトにおける情報発信を実施（9-11月で34件。対前四半期+61%）

オンライン郵趣例会 振興プロジェクト（斎享リーダー）の活動の継続

### 次世代育成事業

スタンプクラブ「月刊切手ニュース」への協力

### 総務ほか

WEBセミナー改善会を開催（12/1）

東京都庁に2019年度事業報告書追加資料を提出（10/30）

日常的な経理業務、問合せ業務への対応

（報告者：代表理事 吉田敬）